

社内ネットワークに接続したままで、同時に多数のパソコン内のデータの一括消去が可能な画期的なソフトが誕生　C S Pの関連会社、ケイ・フロンティア(株)が開発、発売開始

《わが国初のソフト》

リース切れなどで不要になった多数のパソコン(PC)端末内の重要データを、社内ネットワークに接続したまま、同時に一括消去可能なソフトが、C S Pの関連会社、ケイ・フロンティア(株) = 東京都渋谷区笹塚、松田正幹社長 = で開発され、昨年 12 月発売を始めました。

不要 PC 内のデータ消去は従来、1 台ごとに行うソフトによって「時間・手間・人件費」をかけて行われており、一度に数十台、数百台の PC を廃棄する大手企業・金融機関では、リース会社に PC 本体とともに処理(消去)を依頼する所も多い。その際、貴重なデータも、廃棄される PC とともに社外に出るため、情報セキュリティの面で問題がありました。

わが国で初めて、世界的にも珍しいこの消去ソフトを使えば、社内で簡単にデータの一括消去が可能になり、PC 端末を「ただの箱」として安心して廃棄処分に出せます。

《使用の際のセキュリティも万全》

商品名「RemoteClear = リモートクリア」のこの画期的なソフトの特長は、本社および出先機関にある複数台の PC 端末内のデータを社内ランのネットワークを使い、接続したまま、安全・確実に同時に消去出来ます。消去命令を出す要(かなめ)の「管理コンソール PC」には起動認証用の「IC カード」と、「データ消去」を指令するに際しての「パスワード」の二重のセキュリティが施されています。管理コンソール PC の画面上で、各 PC のデータ消去の進行状況を文字や色によって一括管理が可能です。消去完了時、各端末 PC に「完了画面」が表示されるとともに、それぞれのフロッピーディスクに記録されたログは、「消去証明」として活用出来ます。

販売価格は、データ消去を行う PC 端末 10 台(10 ライセンス)用のソフト、起動認証用パスワードとそのリーダー(読取器)の基本パックが 33,900 円で、追加 1 ライセンスにつき 1,100 円。ケイ・フロンティア(株)では、今年度 1 万ライセンス、来年度は 9 万ライセンスの売上を目指しています。

《高まる廃棄 PC 端末内のデータ完全消去への需要》

PC の再利用は、リサイクル制度が今年 10 月にスタートする見通しですが、先の家電リサイクル法の施行以降、既に、中古パソコンビジネスは本格化しています。市場に今年出回るとみられる中古 PC は 97 万台強で、うち 7 割は企業が廃棄した PC の再生品と言われます。

中古 PC 市場の拡大に伴い年々増台する、企業の廃棄する PC 内の貴重なデータの社外流

出とその悪用化がますます懸念されています。(社)電子情報技術産業協会でもパソコン利用者・企業に、使用データの完全消去の必要性と大切さを喚起し、その対策を呼びかけています。

ケイ・フロンティア(株) = 0 3 - 5 3 0 4 - 4 5 2 1



「手前からデータ消去ソフト、起動認証用パスワードとそのリーダー」